

放送 & 芸能

「プロキノ」製作6本 DVD化

幻のプロレタリア映画 今に

戦前の治安維持法で弾圧され、わずか五年で活動に終止符を打った日本プロレタリア映画同盟(プロキノ)が製作した五十以上の映画のうち、残っていた六本がDVD化され、「プロキノ作品集」として発売された。一九三〇年前後の社会状況、労働運動を記録した貴重な資料であるとともに、映画の原始的なパワーも感じさせる。

(井上喜博)



プロキノ作品集を手にする映画史研究家の牧野守さん
＝東京都国分寺市の自宅で

DVDになったのは、一九二九(昭和四)年三月に右翼に暗殺された山本宣治・労働党議員の告別式を隠し撮りした「山本宣治告別式」▽三二年五月に東京・芝公園で行われたメーデーのパレードを記録した「第十二回東京メーデー」▽三二年の東京市電・市バス争議における警備隊と労働者の激しい衝突をとりえた「全線」などで、合わせて四十五分ほどの長さ。フィルムのほとんどは戦中戦後の混乱などで紛失

たと思われていたが、七九年に結成された「プロキノを記録する会」(岩崎勉会)が中心となって発掘、収集した。プロキノは二九年、日本共産党の影響下にある全日本無産者芸術団体協議会の構成団体の一つとして発足。政治的なアシテーションの一つとして映画に着目し、ニュース映画や、ドキュメンタリー、劇映画、アニメーションの製作に取り組んだ。映画は当局の検閲を受けつらうえ、大都市の講堂や地方の集会所で上映されたが、非合法の場合も多かった。

治安維持法 1925年に公布され、国体変革や私有財産制の否認を目的とする結社を禁じ、組織したり、加わったりした者に懲役、禁錮を科した。28年改正で最高刑が死刑に。初めは共産主義者が摘発されたが、対象が拡大され、宗教団体や自由主義者、言論人など、個人に思想・信条全体の統制に国軍司令部(GHQ)の指令で廃止。安倍晋三の政権が成立を目指す「特定秘密保護法案」が、その類似性を危ぶる。

三〇年代に入って治安維持法による取り締まりが強化されると、プロキノも厳しい監視下に置かれ、三四年には指導部が一斉摘発され、解散に追い込まれた。延べ約二百人に上ったメンバーの一部は、東宝の前身であるP.C.L.などに入社して映画製作を続けたが、プロキノについては固く口を閉ざし、その活動は歴史の闇に埋もれていた。プロキノの研究を長年続け、今回のDVDの監修を務めた映画史研究家の牧野守さん(61)は「プロキノをただ単に、左翼の映画人たちによる特殊な政治運動と片付けるのは誤り。小型カメラを使用した撮影など、プロキノをベースに映像表現のさまざまな実験が行われた。日本のサブカルチャーの源流と位置づけることもできる」と強調する。



官憲監視下で運ばれるつぎの撮影に成功した「山本宣治告別式」 岡田桑三撮影



参加者に行われた身体検査も収録され、厳しい警備も分かる「第12回東京メーデー」 岩崎勉総指揮



プロキノ作品でも特筆の迫力といつ「全線」 古川良監督

DVDを刊行した六花出版(東京・神田神保町)の山本有紀乃社長は「今の商業映画と比べれば稚拙な内容だが、築地小劇場で行われたプロキノの上映会に参加した人たちが興奮し、そのまま銀座をデモ行進したという逸話が残されているように、映画が本来持つパワーを秘めている」と話している。

「プロキノ作品集」は、一万五千七百五十円。解説一冊付き。問い合わせは六花出版 電話03・322933・8787。